

2014年3月期 第2四半期決算説明会

軽トラ野郎



軽トラック「キャリイ」を14年ぶりに全面改良

- ・クラストップ※¹の荷台フロア長、小回り性能
- ・クラストップ※¹の低燃費18.6km/L※²を実現（R06A型エンジン採用、50kgの軽量化）
- ・優れた防錆力とクラス最長※¹の長期サビ保証※³
- ・安全性向上（明るいヘッドランプ、56km/hオフセット衝突法規対応等）

※¹ 軽自動車トラッククラス（2013年8月現在、スズキ調べ）。

※² JC08モード走行燃費（国土交通省審査値）。燃料消費率は定められた試験条件での数値。使用環境（気象・渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なる。

※³ ボディー外板表面サビ3年（荷台含む）、ボディー外板穴あきサビ5年（荷台含む）。ボディー外板の表面に発生するサビ現象は保証の対象。お客様が使用過程で塗装を傷つけたことから生じたサビは保証対象外。穴あきサビとは、塗装の下の鋼板部分より発生し進行したサビによる、ボディー外板の穴あき現象のこと。

スズキ株式会社

2013.11.1

・ 2期連続増収、利益額・利益率 過去最高（第2四半期決算） （億円）

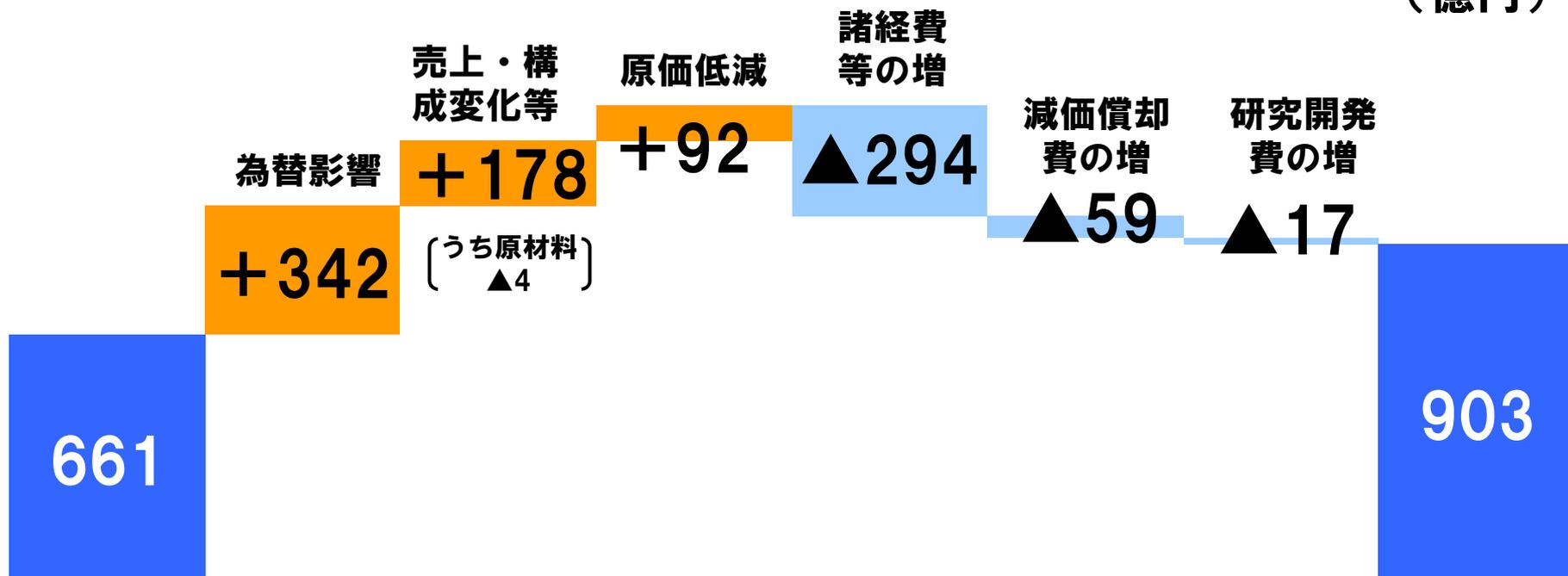
	当第2四半期 (’13/4-9)	前年同期 (’12/4-9)	増 減	
			増	減 増減率
売上高	13,702	12,268	+1,434	+11.7%
国内売上	5,043	5,151	▲108	▲2.1%
自 社	4,554	4,286	+268	+6.3%
OEM	489	865	▲376	▲43.5%
海外売上	8,659	7,117	+1,542	+21.7%
営業利益 (利益率)	903 (6.6%)	661 (5.4%)	+242	+36.5%
経常利益 (利益率)	924 (6.7%)	700 (5.7%)	+224	+32.0%
四半期純利益 (利益率)	517 (3.8%)	419 (3.4%)	+98	+23.3%

(億円)

	二輪			四輪			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	125	114	+11	4,820	4,947	▲127	98	90	+8	5,043	5,151	▲108	
自 社	125	114	+11	4,331	4,082	+249	98	90	+8	4,554	4,286	+268	
OEM				489	865	▲376				489	865	▲376	
海外計	1,261	1,013	+248	7,215	5,944	+1,271	183	160	+23	8,659	7,117	+1,542	+1,292
欧 州	214	154	+60	1,364	1,209	+155	52	42	+10	1,630	1,405	+225	+322
北 米	224	166	+58	53	265	▲212	83	77	+6	360	508	▲148	+68
アジア	607	499	+108	5,045	3,834	+1,211	18	14	+4	5,670	4,347	+1,323	+818
その他	216	194	+22	753	636	+117	30	27	+3	999	857	+142	+84
総合計	1,386	1,127	+259	12,035	10,891	+1,144	281	250	+31	13,702	12,268	+1,434	+1,292
内、為替 換算影響			+197			+1,065			+30			+1,292	

※当期・・・2013年4～9月期、前期・・・2012年4～9月期

(億円)



前年同期
営業利益

当第2四半期
営業利益

増益要因 +612

減益要因 ▲370

営業利益 +242

	当第2四半期 (’13/4-9)	前年同期 (’12/4-9)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	99円	79円	+20円	+41億円
ユーロ	130円	101円	+29円	+96億円
インドルピー	1.70円	1.47円	+0.23円	+82億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.98円	0.85円	+0.13円	+35億円
タイバーツ	3.21円	2.55円	+0.66円	+25億円
その他	—	—	—	+63億円
計				+342億円

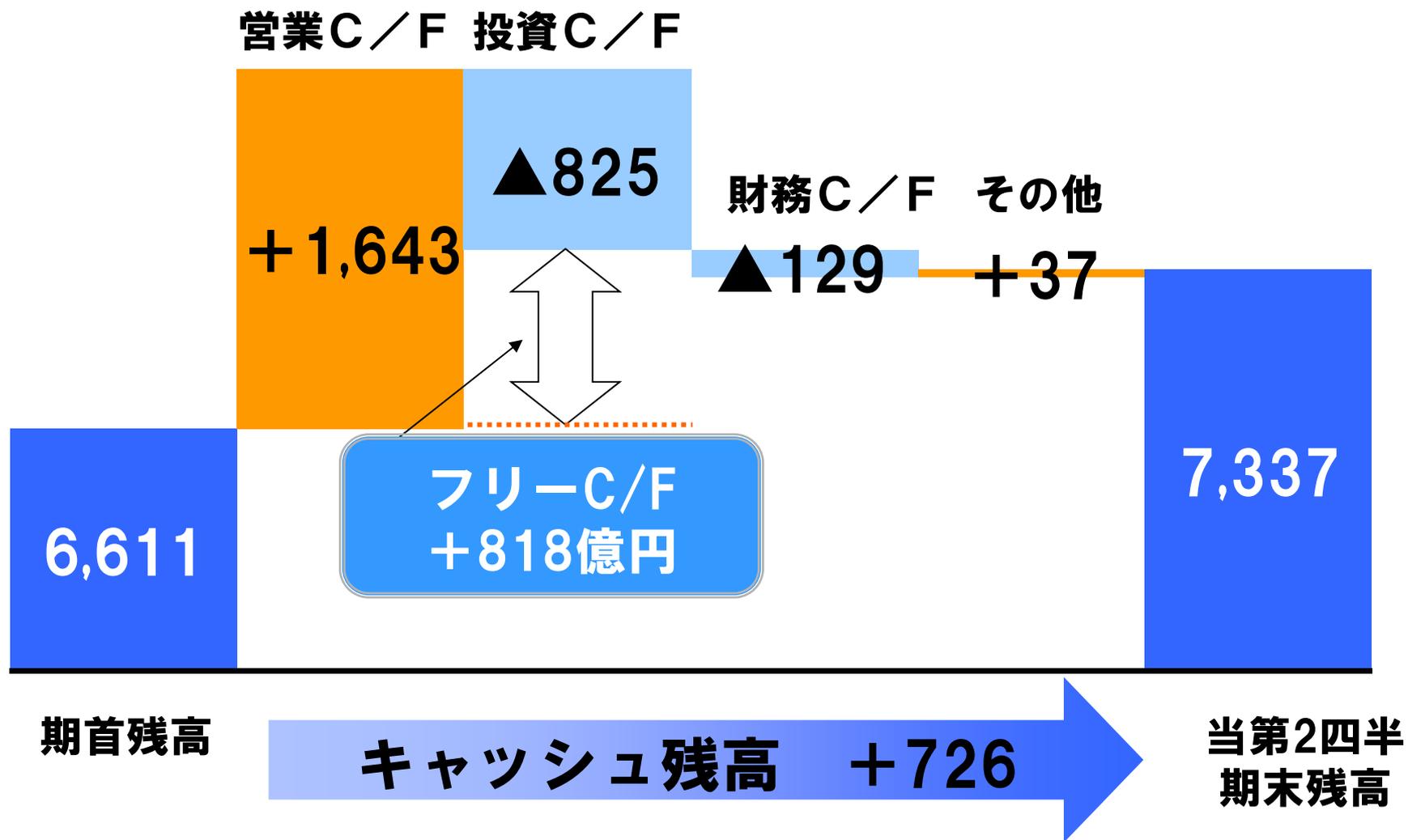
連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第2四半期 ('13/4-9)	前年同期 ('12/4-9)	増 減
(当社単独)	215	261	▲46
(子 会 社)	795	509	+286
設 備 投 資	1,010	770	+240
減価償却費	517	458	+59
研究開発費	595	578	+17

	当第2四半期末	前年同期末		前期末	
	('13/9末)	('12/9末)	増 減	('13/3末)	増 減
有利子負債残高	4,214	4,334	▲120	4,275	▲61

(億円)



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

《二輪》

売上高

前年同期

当第2四半期

売上高
+259 (+22.9%)

1,127 1,386

営業利益
+49 (赤字縮小、
'13/7~9月期黒字化)

▲59 ▲10

前年同期 当第2四半期
'12/4-9 '13/4-9

《四輪》

売上高
+1,144 (+10.5%)

10,891 12,035

「営業利益」
「利益率」
過去最高
(第2四半期決算)

営業利益
+179 (+25.8%)

692 871

前年同期 当第2四半期
'12/4-9 '13/4-9

《特機等》

売上高
+31 (+12.2%)

250 281

営業利益
+14 (+49.8%)

28 42

前年同期 当第2四半期
'12/4-9 '13/4-9

営業利益

前年同期

当第2四半期

- **ベネトウ社※がフランス、イタリア、ドイツ、イギリス4カ国で販売する「ベネトウ」ブランドの船外機付きボートに、90馬力以上の船外機を独占的に供給。**
- **共同PR活動を行うとともに、商品開発に関しても技術情報交換によって相互サポートを行っていく。**
- **大型船外機の販売増とともに、スズキ船外機のブランド力強化と船外機の技術力、商品力向上につなげていく。**

※ベネトウ社について

ベネトウグループは「ベネトウ」を含む6つのブランドを持つ欧州トップのボートメーカーで、ヨットやモーターボートなどのプレジャーボートを製造し、世界のマリン業界をリードしている。

1884年に創業し、本社はフランス北西部のサン・ジル・クロワ・ド・ヴィ市にある。年間売上高は約1,080億円（2012年）。



連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

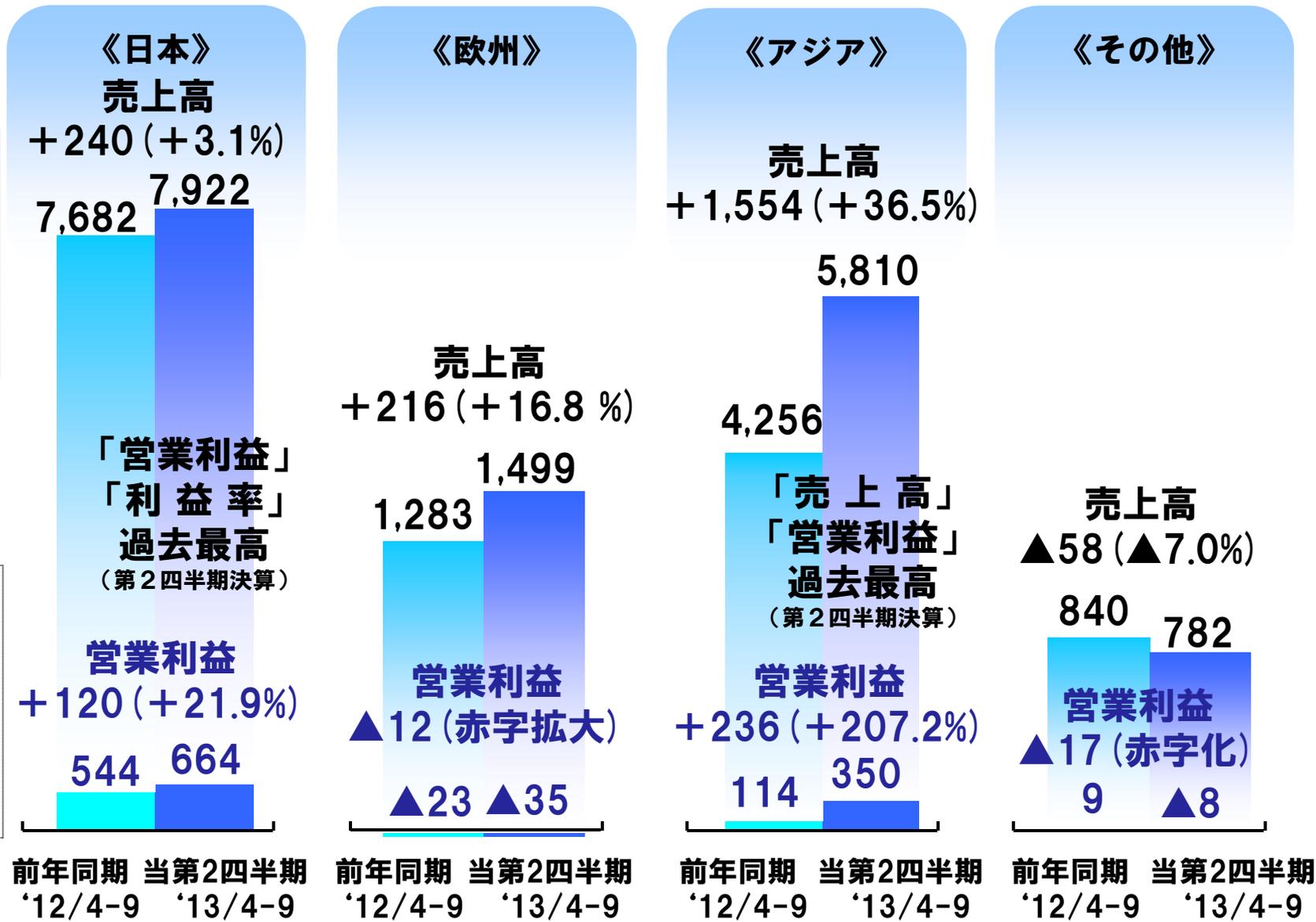
前年同期

当第2四半期

営業利益

前年同期

当第2四半期



	当第2四半期末 ('13/9末)	前年同期末		前期末	
		('12/9末)	増 減	('13/3末)	増 減
連 結 子会社数	135社	135社	±0社	135社	±0社
持分法適用 関連会社数	37社	36社	+1社	37社	±0社
従業員数	57,545人	55,574人	+1,971人	55,948人	+1,597人

(為替レート、販売台数等を見直し⇒営業利益 50億円上方修正)

(億円)

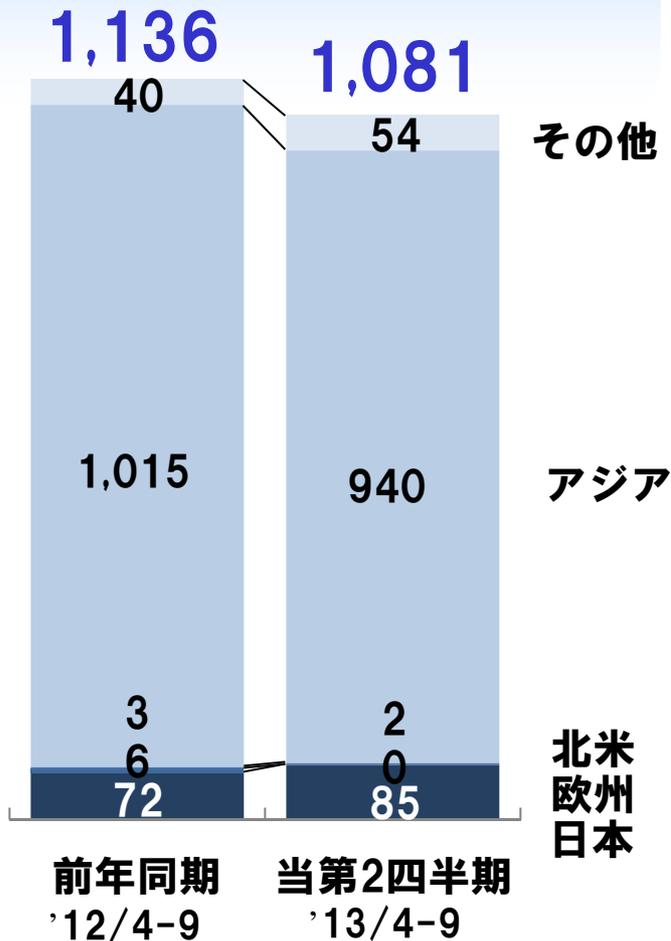
	今回 通期予想	前期比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
売上高	28,000	25,783	+2,217	28,000	—
営業利益	1,700	1,446	+254	1,650	+50
経常利益	1,800	1,556	+244	1,800	—
当期純利益	1000	804	+196	1000	—
増減要因	為替影響	+425	▲69	+420	+5
	原価低減	+270	+284	+280	▲10
	売上・構成変化等	+209	+327	▲26	+235
	諸経費等の増	▲380	▲288	▲200	▲180
	減価償却費の増	▲160	+94	▲160	—
	研究開発費の増	▲110	▲95	▲110	—
計	+254	+253		+204	+50
設備投資	2,400	1,693	+707	2,400	—
減価償却費	1,100	937	+163	1,100	—
研究開発費	1,300	1,193	+107	1,300	—

連結：通期業績予想 (為替レート前提)

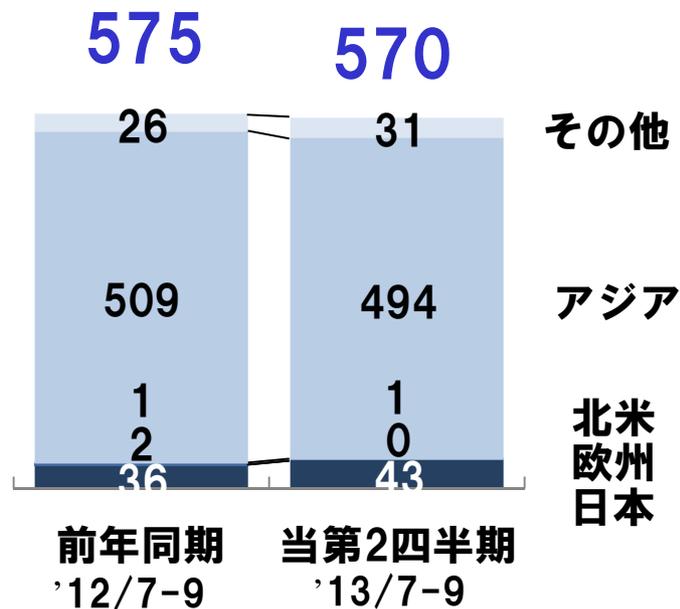
	今回予想 (2013.4~2014.3)			為替影響	前期比較 (2012.4~2013.3)		前回予想比較 (2013.4~2014.3)	
	上期実績	下期予想	通期予想		通期実績	増減	通期予想	増減
米ドル	99円	95円	97円	+65億円	83円	+14円	96円	+1円
ユーロ	130円	125円	127円	+139億円	107円	+20円	126円	+1円
インド ルピー	1.70円	1.60円	1.65円	+76億円	1.54円	+0.11円	1.65円	-
インドネシア ルピア※	0.98円	0.90円	0.94円	+32億円	0.88円	+0.06円	0.97円	▲0.03円
タイ バーツ	3.21円	3.00円	3.10円	+39億円	2.62円	+0.48円	3.10円	-
その他通貨				+74億円				
為替影響額 計				+425億円				

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

《4～9月比較》
▲55千台(▲4.8%)



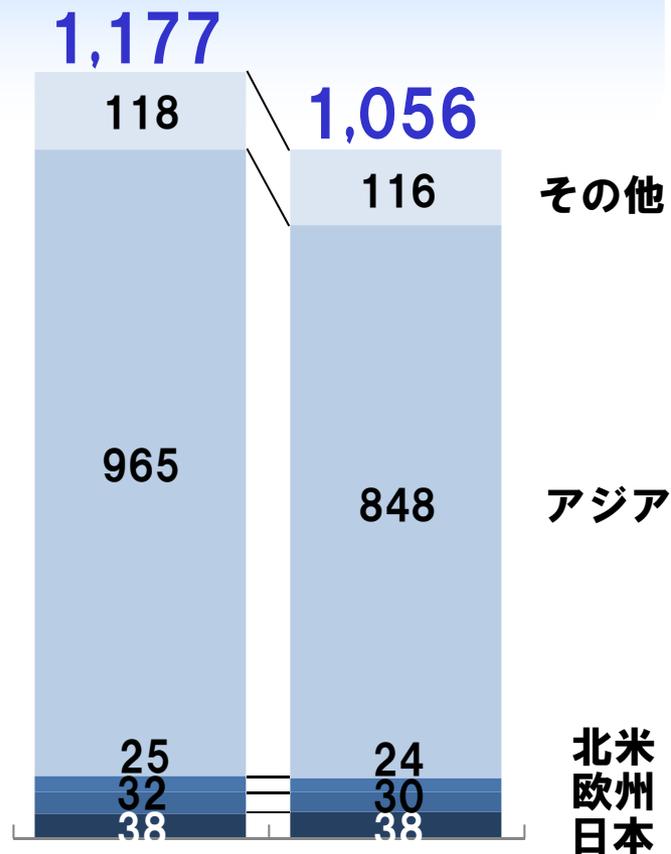
《7～9月比較》
▲5千台(▲0.9%)



(千台)

《4～9月比較》

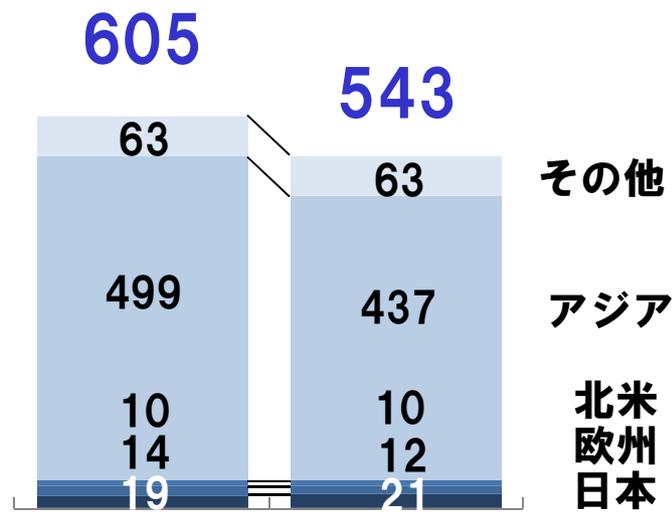
▲121千台(▲10.3%)



前年同期 '12/4-9
当第2四半期 '13/4-9

《7～9月比較》

▲62千台(▲10.3%)

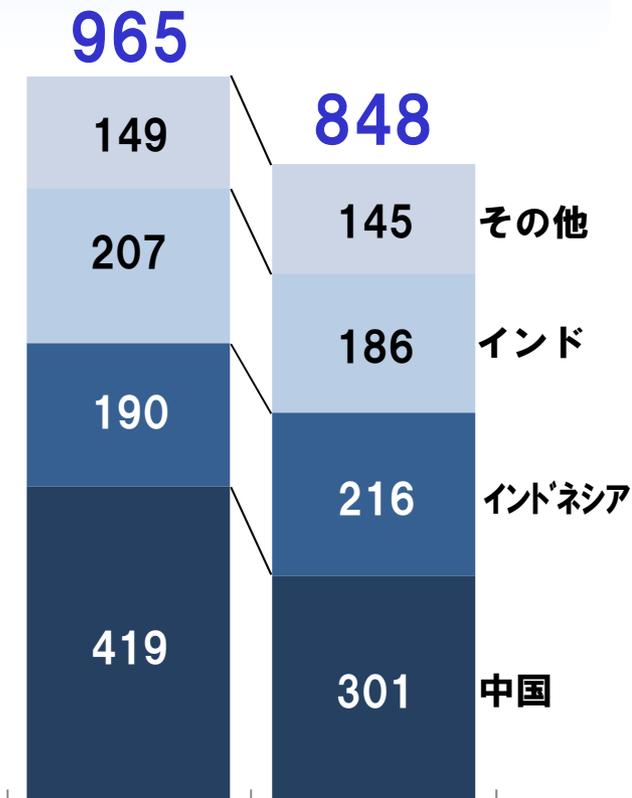


前年同期 '12/7-9
当第2四半期 '13/7-9

(千台)

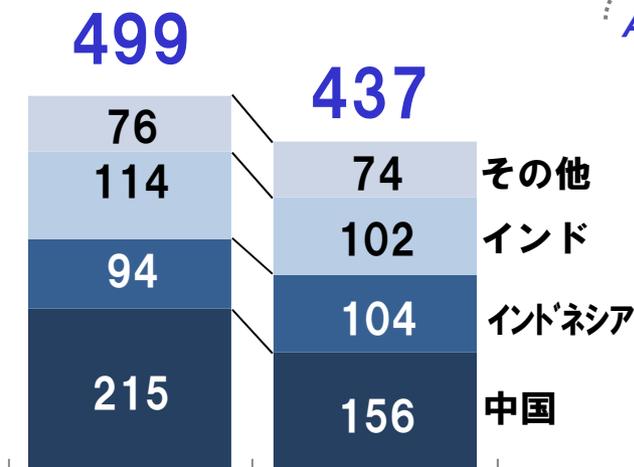
《4～9月比較》

▲117千台(▲12.1%)



《7～9月比較》

▲62千台(▲12.4%)



(千台)



Access 125 Special Edition (India)



New Satria F150 (Indonesia)

前年同期 '12/4-9 当第2四半期 '13/4-9

前年同期 '12/7-9 当第2四半期 '13/7-9

- 海外向け2014年新モデル
 - ・世界耐久選手権4連覇を決めたル・マン会場にて2014年モデル発表
 - ・V-Strom1000ABS
 - ・バーグマン125、バーグマン200



バーグマン125/200



V-Strom1000ABS

- タイで中大型二輪車のラインナップ拡充

- ・タイでは所得の向上に伴い、趣味やレジャーとしての二輪車需要が増加
- ・隼、GSX-R1000に続いて、新たにV-Strom650ABS、グラディウス650ABS、GW250、バーグマン125、バーグマン200、バンバン125の6機種を投入

- タイで販売するバーグマン125/200、GW250はタイで生産

- ・バーグマン125/200はタイで生産し、欧州、北米、大洋州等にも輸出



バンバン125



GW250

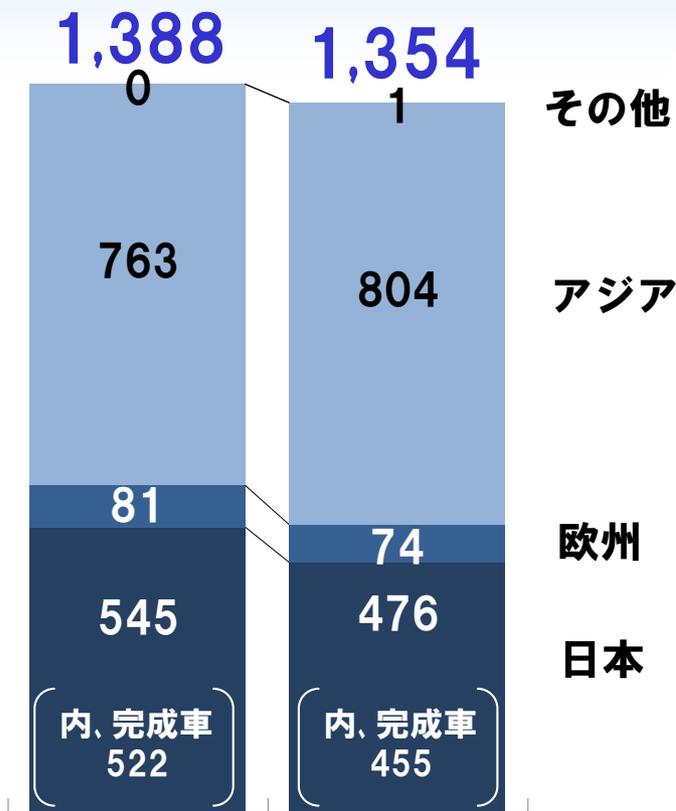


グラディウス650ABS



V-Strom650ABS

《4～9月比較》
▲34千台(▲2.4%)



前年同期 '12/4-9
当第2四半期 '13/4-9

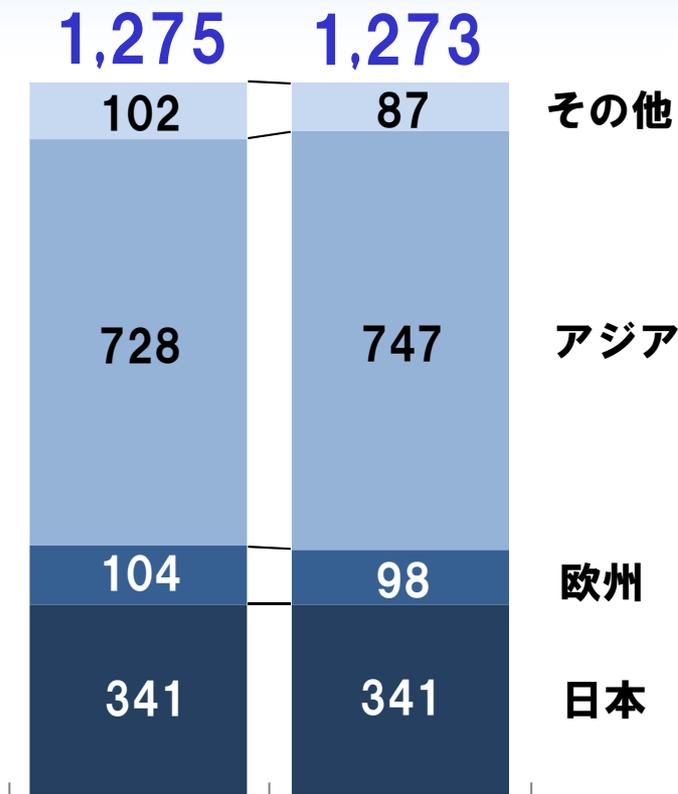
《7～9月比較》
+55千台(+8.6%)



前年同期 '12/7-9
当第2四半期 '13/7-9

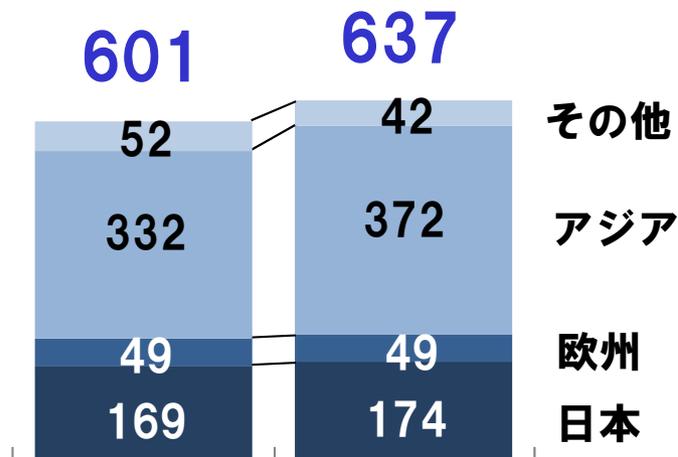
(千台)

《4～9月比較》
▲2千台(▲0.2%)



前年同期 '12/4-9
当第2四半期 '13/4-9

《7～9月比較》
+36千台(+5.9%)



前年同期 '12/7-9
当第2四半期 '13/7-9

(千台)

《4～9月比較》

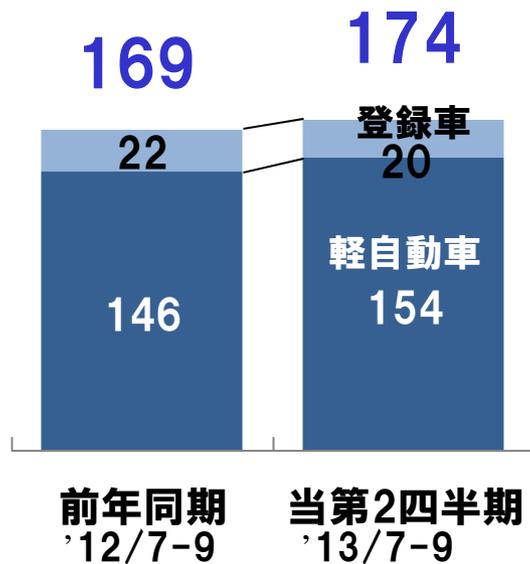
±0千台(±0.0%)



《7～9月比較》

+5千台(+2.9%)

(千台)



ワゴンR

- おかげさまで20周年
国内累計販売400万台達成



スペーシア

- スペーシアにレーダーブレーキサポートなど先進安全技術搭載車を設定



新型キャリイ

- 14年ぶりに
全面改良



■ 新型「SX4 S-CROSS」

- ・スズキのコンパクトカーづくりのノウハウと四輪駆動技術を融合
- ・スズキとしては初となるCセグメントクロスオーバーモデル
- ・ハンガリーのマジャールスズキ社にて生産
- ・本年9月より欧州各国で順次販売開始
- ・当モデルより欧州以外へも出荷国を拡大
- ・ユーロNCAPの安全性能総合評価で最高評価の5つ星を獲得

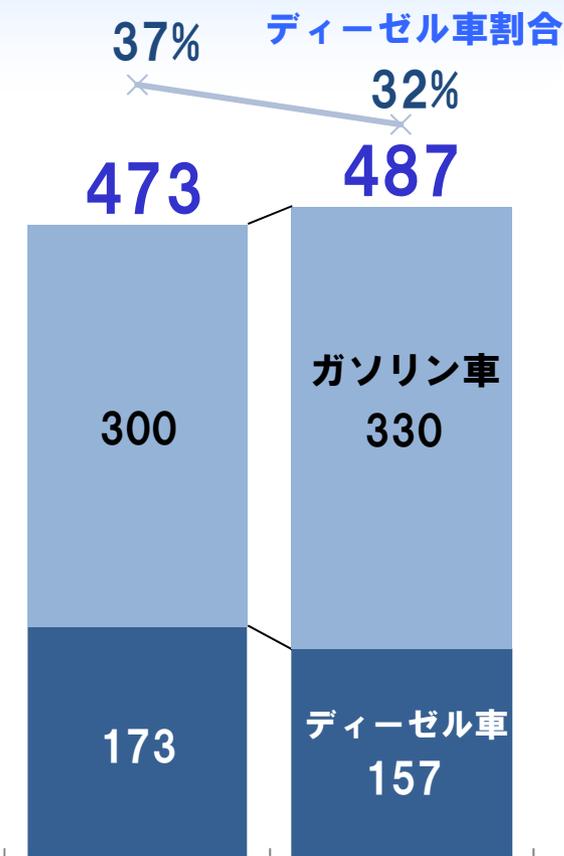


■ SUVコンセプトモデル「iV-4」

- ・「第65回フランクフルト国際モーターショー」に、コンパクトSUVのコンセプトモデル「iV-4」を出品
- ・テーマ「Grab your field」
(自分のフィールドをつかもう)
- ・スズキ伝統のデザイン(貝殻形状のボンネットフード、5分割グリル)をモチーフに、先進的なデザインに仕上げた新しいパーソナルコンパクトSUV
- ・「iV-4」をベースとした量産モデルを、2015年に欧州に投入予定



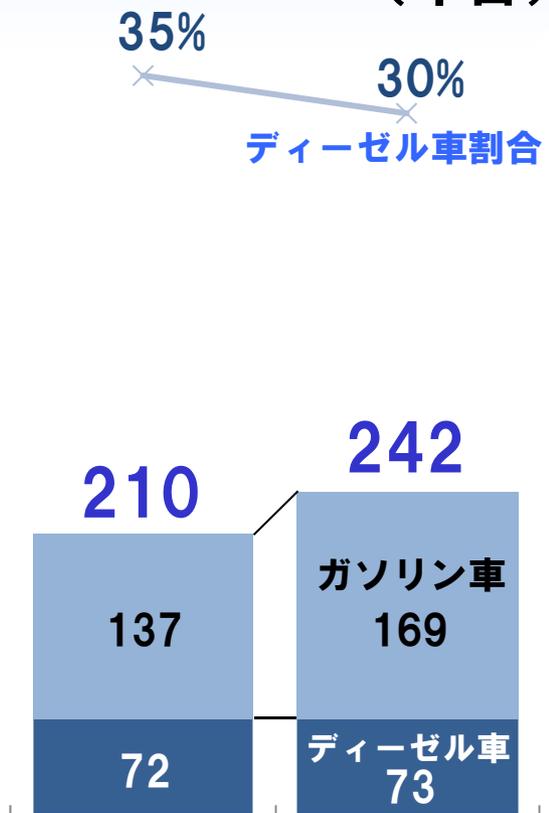
《4～9月比較》
+14千台(+2.9%)



前年同期
'12/4-9

当第2四半期
'13/4-9

《7～9月比較》
+32千台(+15.1%)
(千台)



前年同期
'12/7-9

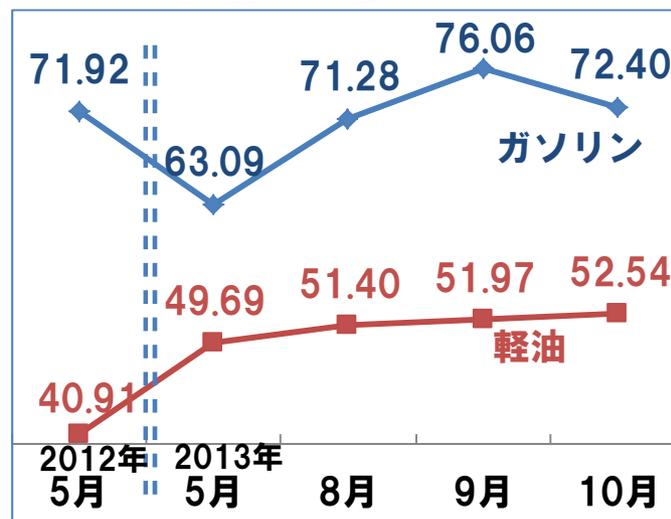
当第2四半期
'13/7-9

スティングレー

・8月、スティングレーを新発売

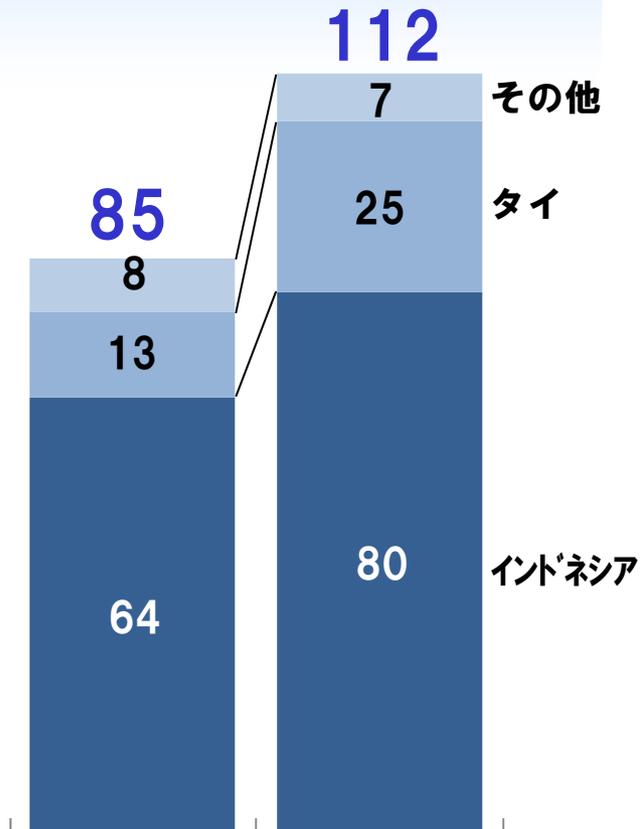


＜インド燃料価格推移＞ (ルピー/L)

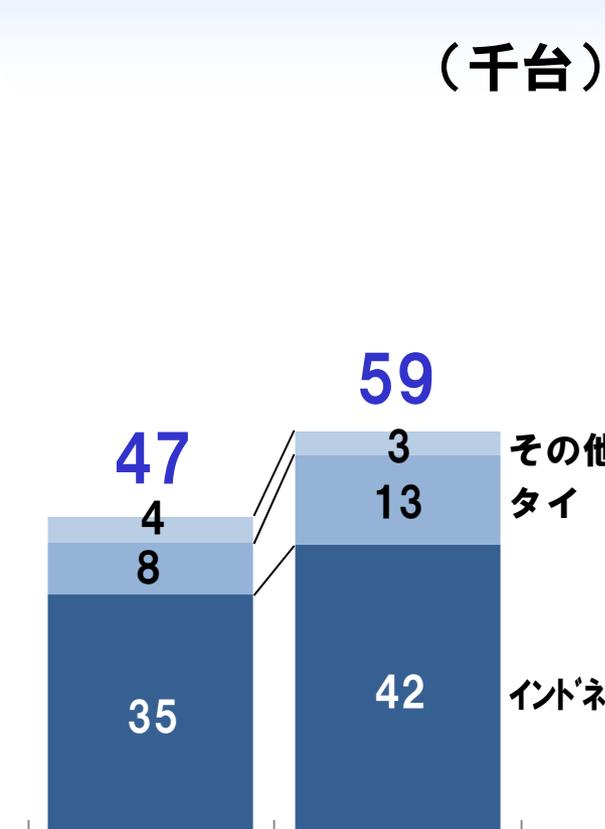


※月末時点デリー価格、10月は29日現在

《4～9月比較》
+27千台(+32.3%)



《7～9月比較》
+13千台(+27.1%)



Swift (from Thailand)



Ertiga (from Indonesia)



前年同期 '12/4-9
当第2四半期 '13/4-9

前年同期 '12/7-9
当第2四半期 '13/7-9

※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

- ジャカルタモーターショーにてワゴンRを発表
 - ・政府のLCGC政策に適応
 - ・低燃費の1.0L 5人乗り乗用車
 - ・タンブン工場にて2013年9月より生産開始
- GIIC工業団地に新工場を建設
 - ・面積 約130万㎡
 - ・目的
 - ・二四輪車の内作化促進による
現調率引上げ・コスト削減
 - ・四輪車の生産能力拡大
 - ・投資額 930億円
- エンジン・ミッション工場
 - ・投資内容 鋳造、鍛造、機械加工、組立
 - ・稼働開始 2014年2月(組立)、2014年11月(鋳鍛造、機械加工)
- 四輪車組立工場
 - ・投資内容 四輪車のプレス、溶接、塗装、組立
 - ・稼働開始 2015年1月



(8月1日公表から変更)

(千台)

	通期生産台数					通期販売台数				
	予想 (13年度)	前期実績		前回予想からの修正	予想 (13年度)	前期実績		前回予想からの修正		
		(12年度)	増減			増減率	(12年度)		増減	増減率
<二輪車>										
日本	186	169	+17	+10.4%	▲4	75	76	▲1	▲1.5%	+2
欧州	—	13	▲13	—	—	50	47	+3	+5.8%	▲1
北米	5	6	▲1	▲13.1%	▲2	45	44	+1	+1.4%	▲11
アジア	1,906	1,992	▲86	▲4.3%	▲111	1,753	1,911	▲158	▲8.3%	▲180
その他	117	90	+27	+30.1%	▲2	238	233	+5	+2.2%	+0
合計	2,214	2,269	▲55	▲2.4%	▲119	2,161	2,312	▲151	▲6.5%	▲190
<四輪車>										
日本	991	1,044	▲53	▲5.1%	+48	682	672	+10	+1.5%	+22
欧州	171	151	+20	+13.4%	▲5	211	197	+14	+7.2%	▲9
アジア	1,755	1,683	+72	+4.3%	▲23	1,639	1,588	+51	+3.2%	▲42
その他	2	0	+2	—	—	176	204	▲28	▲13.7%	+11
合計	2,919	2,878	+41	+1.4%	+20	2,708	2,660	+48	+1.8%	▲18

・ 前回予想から中間配当を2円増配

	当期配当	前期実績比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
中間配当	10円	8円	+2円	8円 (予想)	+2円
期末配当	10円 (予想)	10円	±0円	10円 (予想)	±0円
年間配当	20円 (予想)	18円	+2円	18円 (予想)	+2円

2014年3月期 第2四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。